

人Nana

たのた

中信ビジネス情報誌

2024 Vol.157
Business information magazine

特集 [伝統を継ぐ]
有限会社匠弘堂

千年建築。

〔経営者列伝〕

日本の伝統工芸を海外に繋げ、未来へと繋ぐ
Pieces of Japan株式会社

〔この企業にこの技あり〕

〆チームの力、で実現する
高度な獣医療とトータルケアサービス
株式会社UAH

〔景気動向調査〕

千年建築。





代表取締役 横川総一郎 氏

昭和39年、京都生まれ。大学で機械工学を専攻、家電メーカー勤務を経て建築設計の業界に転身。現場で岡本棟梁らと出会い、感銘を受け、入門。のちに岡本棟梁の一番弟子である有馬棟梁とともに3名で有限会社匠弘堂を起業。京都市文化財マネージャー（建造物）。

Special Feature
Traditional arts and crafts

特集「伝統を継ぐ」 有限会社匠弘堂

たとえば自分一人の力は及ばないとしても、

先人の積み重ねた叡智の上に立てば、

いつか見晴らしの良い景色を

視野に収めることができる。

そのような継承と創造の営みを、

巨人の肩に立つ、という。

平均年齢28歳の若い宮大工集団・匠弘堂の人々にとって、

初代棟梁の岡本弘氏は、

まさに巨人だった。

この巨人は、自ら高みに立つだけでなく、

時には腰をかがめ、手を差し伸べて、

自分の肩に登ってくる若者たちを助け、語りかけた。

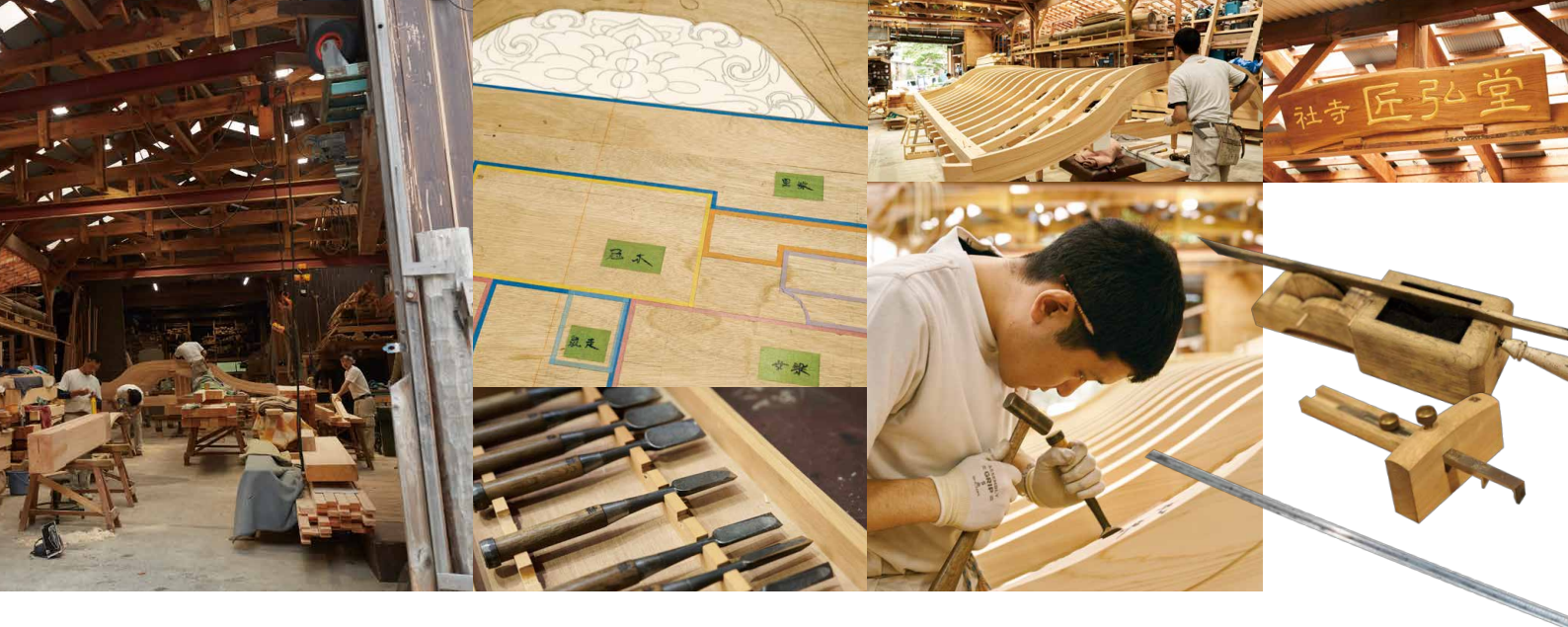
どうや、見えたか、と。

「たとえば『継手仕口』^{つぎてしぐち}というのがあるんですけどね」

宮大工の技術って、どんなものなんですか？

という、あまりにも素人な質問に、横川さんが見せてくれたのは2本の角材。先端部が複雑な多面体にカットされていて、これをホゾという2本を組み合わせると、凹凸がぴたりと隙間なく重なり、「込み栓」と呼ばれる栓を差し込むと、もうびくともしない。紙一枚、入る隙間もなく、最初から一本の木ですよ、と澄まし顔だ。「継手仕口は、他業界の細かなバリエーションまで含めると約二百種類あります。建物の構造や部材によって、重量を支え、力をうまく受け流すものを吟味して使います」

継手仕口によって大小さまざまな木材が縦横に組み合わされて、外からは窺い知れない社寺建築の内部構造が出来上がる。宮大工は、さしがね（曲尺）^{かまじぎ}という直角に曲がった金属製の定規一つでこの複雑な構造物の寸法を決め、築き上げていく。



解体しても恥ずかしくない仕事、それは、歴史の審判。

さしがねには目盛が刻まれているが、表面と裏面では微妙にピッチが違う。

「そう、よくお気づきですね。裏尺は表尺の $\sqrt{2}$ 倍になっているんです。そのほかにも三角関数や微分積分など、杜寺建築には、実は数学的な要素がふんだんに取り入れられています。これを「規矩術」といって、鎌倉時代にはすでに確立しています」

横川さんは大学で機械工学を専攻し、大手家電メーカーで設計の仕事をしていたという経歴の持ち主だから、数学的な説明も立板に水だが、鎌倉時代の大工たちがピタゴラスやユークリッドを知っていた



伝統的な手法で作られる継手仕口。修復・修理工事では、可能な限り元の木材を生かし、傷んだ部分だけを継手仕口によって新材に入れ替える。

はずもない。いや、知っていたのか？

「古代ギリシャやエジプトの数学は、土地の測量の必要から生まれたと言われています。もともとは「現場の知恵」なんです。規矩術も、現場の大工たちが試行錯誤を経て編み出し、伝えてきたものです」ポイントとは、「伝えてきた」というところだ。「ピタゴラスがどうやって作られたか、ご存じですか？ 諸説ある？ そう、諸説あるだけで、本当のところはわからない。伝わっていないんです。日本の伝統的な建築技術は、今でも私たち宮大工が伝えている。この違いは大きいと思います」

法隆寺五重塔は、現存する世界最古の木造建築である。千三百年ほど前の創建当時には隋や高句麗の建築技術が将来され、日本の職人たちは必死にそれを学んだことだろう。その技術と様式は日本の風土や社会構造の中で変化・成熟し、定着していった。では、それが今に至るまで途絶えることなく受け継がれてきたのはなぜだろう？

師匠から弟子へ、そのまた弟子へと熱心



大阪・藤田美術館の多宝塔。高野山光台院に400年前に建立され、大正期に現在地に移築された。美術館の建て替えに伴い、国内の塔建築としては初めて、匠弘堂が曳家・修理を行った。

な教育が行われたことも、もちろんあるだろう。だがそれだけではない。湿润な温帯モンスーン気候の日本列島では、木材の劣化は不可避免であり、歴史的な建造物といえども数十年から数百年に一度は大規模な解体修理や修復が必要になる。宮大工は、その時、先人たちがどんな仕事をしてきたか、その技術の凄まじさを目の当たりにして深い学びを得るのだ。横川さんの名刺の裏に、こう書かれている。「見えるところは当たり前前見えないところほど気配りをせなあかんそれが建物を強固にし百年、二百年と美しさを保つことができるんや 解体しても恥ずかしいない仕事をせなあかん」



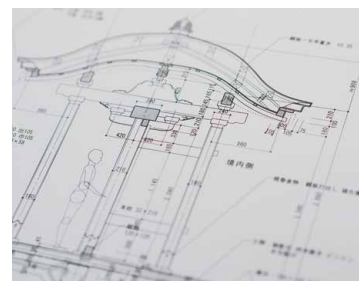
匠弘堂元相談役
宮大工初代棟梁
故・岡本 弘 氏

昭和8年、岡山県生まれ。15歳の頃、大工だった父の手伝いを始め、水害で壊れた木造の橋を修理したのが初仕事。それから60年以上の大工キャリアを持ち、独学で社寺建築の極意を切り開き、宮大工棟梁となる。奈良吉野神社、広島県速谷神社、尼崎東光寺門戸厄神など、実績多数。



屋根の勾配の一例。宮大工は規矩術を駆使してさしがね一本で複雑な勾配計算を行う。もちろんコンピュータを使うことも可能だが、伝統技術を支える人の知恵は、一度失われると再生することは容易ではない。

その鑿跡のみあとをトレースして、 巨人の肩の上に立つ。



この言葉を残したのは、今は亡き匠弘

堂の初代宮大工棟梁・岡本弘氏だ。家電メーカーから一般建築の設計事務所に転職していた横川さんは、ある現場で岡本棟梁と出会った。伝統産業の職人といえど、無口でぶつさらばう、仕事は教えない、見て盗め。まして大工の棟梁ならば腕っぷしも強い。…というテンプレート、先入観があるのだが、岡本棟梁は違った。

「当時、私は社寺建築についてはほとんど素人だったんです。そんな若造の設計士がとんちんかんな質問をしても、岡本棟梁はちゃんと丁寧な言葉で返してくれる。現場ではとてもゆつくり動いているのに、仕事は誰よりも早くて正確。この人は本物だと思いましたし、この人についていけば自分も何者かになれる、と直感しました」

一番弟子として長年、岡本棟梁のもと

で研鑽を積んだ有馬茂さんと3人、ここにはとても書ききれない紆余曲折うよきよくてきを経て、2001年に有限会社匠弘堂を設立。企業理念には、こう掲げられている。

「私たちは、岡本棟梁より受け継いだ伝統的な木造建築技術を駆使して、高い品質と大きな感動を届け、日本文化の伝承と発展に貢献します。」

「最初はほんまにこの人は神様や、と思ったんです。でも、付き合っているとだんだん人間的なところが見えてくる。お茶目なところも、わがままなところもあるんです。現場が遠方で趣味の釣りができない日が続くと、じわじわ不機嫌になったりとか。でも、そういうところも含めて、私たちは岡本棟梁が大好きでした」

2015年、岡本棟梁は鬼籍に入った。

匠弘堂の若い宮大工たちの多くは、直接その教えを受けていない。だが、横川さんや、二代目棟梁の有馬さんは、岡本棟梁から受け取ったバトンを次の世代に繋ぐべく、若手に成長の機会を与え、共に匠弘堂の未来を描いてきた。人を教え、指導する立場になつても、自分たちは永遠に岡本棟梁の弟子だと自認しているからだ。横川さんがフリーハンドで屋根の見事な曲線を描き、有馬さんが絶妙な継手仕口をこしらえる。そんな横川さんや有馬さんを通して、若者たちは岡本棟梁の姿を見る。そして、そのさらに向こうに、千数百年にわたって日本の伝統建築を支えてきた有名無名の宮大工の群像を幻視する。

「匠弘堂は、教え合いの心が身上です」

宮大工修行の到達点を無限遠点に想定しているから、技の出し惜しみをしている暇などないのだろう。互いに研鑽を積み、全力を出し切る。そしてある時、彼らは、巨人の肩の上に立っていることに気づく。

日本の伝統工芸を海外に繋げ、 未来へと繋ぐ

Pieces of Japan株式会社

代表取締役 小山 汀奈^{テイナ}氏



暖簾や棕櫚簾^{のれん しゅうほうし}、そして金継ぎ。日本人には一見なんでもなく思えるこうした「伝統工芸」が、今海外で大きな反響を呼んでいる。日本に眠る工芸品や技術を発掘し、時に絶妙なアレンジを加えながら海外へと発信、その利益を職人に還元して伝統工芸業界の課題解決をめざすPieces of Japan株式会社の小山汀奈代表に話を聞いた。

シリコンバレーで得た

気づきや知見を事業の土台に

スイスで生まれ育った私が日本文化に親しんだのは、伝統工芸品のバイヤーである母の影響でした。京都出身の母親は子どもに日本文化を伝えたいという思いの強い人で、食事は毎日日本食で、家での会話も日本語。職人さんや作家さんの器が数多く自宅にありました。学生の頃、母の買い付けに同行する機会があり、日本の伝統工芸業界が抱える課題、後継者難や仕事量の不足、グローバル展開への壁などについて現場で話を聞いたことが、非常に強く印象に残っています。また一方で私はデジタル分野にも興味があつて、デジタルとデザインの融合したものづくりがしたいと大学ではコミュニケーションデザインを専攻。東京で就職して数年後に出逢ったInformation Architect株式会社が日本法人※1でのアプリ開発業務は、長期的なスパンでデジタルデザインができる、まさに理想の仕事でした。その後、同じ業界であるが最先端の技術に触れたいと米シリコンバレーに

渡り、アプリ開発のスタートアップ企業を経て「Pixel社（現X社）」に入社しました。

こうしたテック業界に身を置いて、ひとつ気付いたことがあります。デジタルで仕事をしている人ほど、身の回りに置く物にこだわるんです。デジタルに浸かる時間が長くなると、人間は自ずと本物の手触りや手仕事を求め始めるのでしょ。また、日本文化に深い興味関心を抱いて、何度もリピートしている愛好者が本場に多いんですね。こうした需要と繋げることができれば、伝統工芸業界の課題解決も実現するのではないかと。今の事業の構想を温め始めたのは、夫が地元の京都に戻るため帰国が近づいた2017年頃のことです。日本の工芸やデザインの情報を海外発信するブログ・SNSで顧客リサーチを先行しつつ準備を進め、2020年に帰国。同時にPieces of Japan株式会社を設立しました。



▲京町家を改装したオフィスで働くスタッフ。多様な国籍・技能の一方、同社の理念への共感は共通している。

※1 スイス人デザイナーが代表を務めるデザイン会社。独バウハウスを源流とするタイポグラフィにこだわったプロダクトやWebデザインの制作で国際的に高い評価を得る。



▲同社には、オランダやベルギーなど欧州出身の金継ぎ師も所属。海外需要が高いなか、英語を話せる金継ぎ師の存在は貴重だという。



▲全くアレンジを加える必要のない伝統工芸品も多いと小山代表。棕櫚箒はその代表格で、国内外問わずファンが多い。



※2 修行僧が托鉢で使う「応量器」。元々は光沢のあるものだったが、海外向けにマットな質感にアレンジして同社を代表するヒット商品のひとつに。

海外顧客を魅了する品や技が日本には眠っている

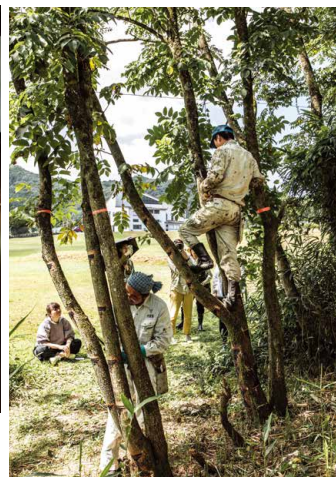
弊社のライフスタイルブランド「POJ Studio」では主にインテリア商品を扱っていて、そのなかには応量器※2などのテールウェアやお香、現在企画中ですがラウンジウェアなども含まれます。インテリアなら職人さんが丁寧に作る一点物ならではの価値と価格がマッチしますし、純日本産のライフスタイルブランドとして世界中の家庭に浸透させることができれば、伝統工芸業界がもっと活気づくと考えたからです。ECサイトでは作り手のストーリーの発信にも注力しながら、毎月新商品をリリースしています。商品開発の際は、共同で仕事をする職人さんにもづくりの工程や今後の方向性を伺って、同じ方向を見て進むことが重要。だからなるべく足を運ぶようにしていますが、工房を見学すると「あっ」とさせられる発見がまたあつたりして、本当に面白いです。和紙の工房で見せてもらった柿渋染めや、お香の工房で見つけた香炉など、実際に商品化して売れているものも多いですね。また、設立時から弊社で人気を集め続けているのが「金継ぎ」関連のコンテンツ。器の修復はもちろん、キット販売や体験教室も大好評で、現在、社内には国際色豊かな4人の金継ぎ師が在籍しています。修復技術はサステナブルな暮らしを実現するとして海外顧客に需要が高いので、今後は他の修復技術でも職人を育てつつ、さらにはものづくりでも職人を迎えて、商品の社内生産を実現したいです。内製化すれば起こせるイノベーションも増えるはずですし、次は使う素材について、北山杉をはじめとした林業や農業の課題解決にも携わりたいと考えています。

伝統工芸の仕事と滞在型観光を掛け合わせた場所づくり

私たちの第一の役目は、より多くの職人さんの仕事を安定的に作ることに。現在約40〜45人と一緒に仕事をしていますが、米「こめ」をはじめ海外に直売店舗を増やして売り上げを伸ばすことで、職人さんの数を増やしていく予定です。ゆくゆくは社内に迎えて、前述のように社内生産を始める。さらに将来的には郊外に土地を取得して、工芸村のような場所づくりをするビジョンも描いています。その村には、工



▲修復技術を教わるだけでなく、金継ぎに縁のある銀閣寺や京北の漆の森などに赴いて文化を深く学ぶプログラムが訪日観光客に人気。



房はもちろん住まい、素材を育む山や畑、そして宿や食堂なども作って、仕事と住まいと観光がコラボレーションする空間にできればと考えているのです。実は既に、金継ぎに関係した滞在型観光の試みも始めていて好評を博しています。また、工芸村は各地に作りたんです。京都の工芸品は京都で、北海道の工芸品は北海道で、というように。もうこれは私のライフワークで、一生続けますよ。

▲1階に商品を手に取って五感で確認できる店舗、2階にはアトリエと金継ぎワークショップのスペースを構える。

Pieces of Japan株式会社
〒605-0932 京都府京都市東山区妙法院前側町427-19
TEL:090-5086-3837

沿革

2020年 Pieces of Japan株式会社設立
2022年 東山に初のフラッグシップ店舗「POJ Studio」オープン
2023年 米ロサンゼルスに海外初店舗「POJ Studio」オープン予定

POJ STUDIO

CAST IRON COLLECTION

A collection of cast iron items, handmade in Japan, each piece with its own story.

BUY NOW

Pieces of Japan reimagine for the modern home with a vision to revitalize tradition.

NEW WARE KITS TABLEWARE DECOR

▲同社のECサイト。モノだけでなく各種体験や金継ぎによる修復サービスも商品として販売する。
<https://pojstudio.com>

Vol.23

この企業の技あり

株式会社UAH
UKYO ANIMAL HOSPITAL

チームの力で実現する

高度な獣医療と

トータルケアサービス

犬や猫などのペットを飼っている人、あるいは飼いたいと思ったことがある読者は多いのではないだろうか。近年では「伴侶動物」とも呼ばれ、ペット＝家族の一員という認識は当たり前になりつつある。動物たちも長寿化し、歯周病や心臓病などの患畜が増加する中、獣医療も人の医療と同様に発展を続けている。2012年の創業から右京区の地域獣医療を支え、その高い技術力とチーム力で世界の獣医療をも牽引する「右京動物病院」を訪ねた。

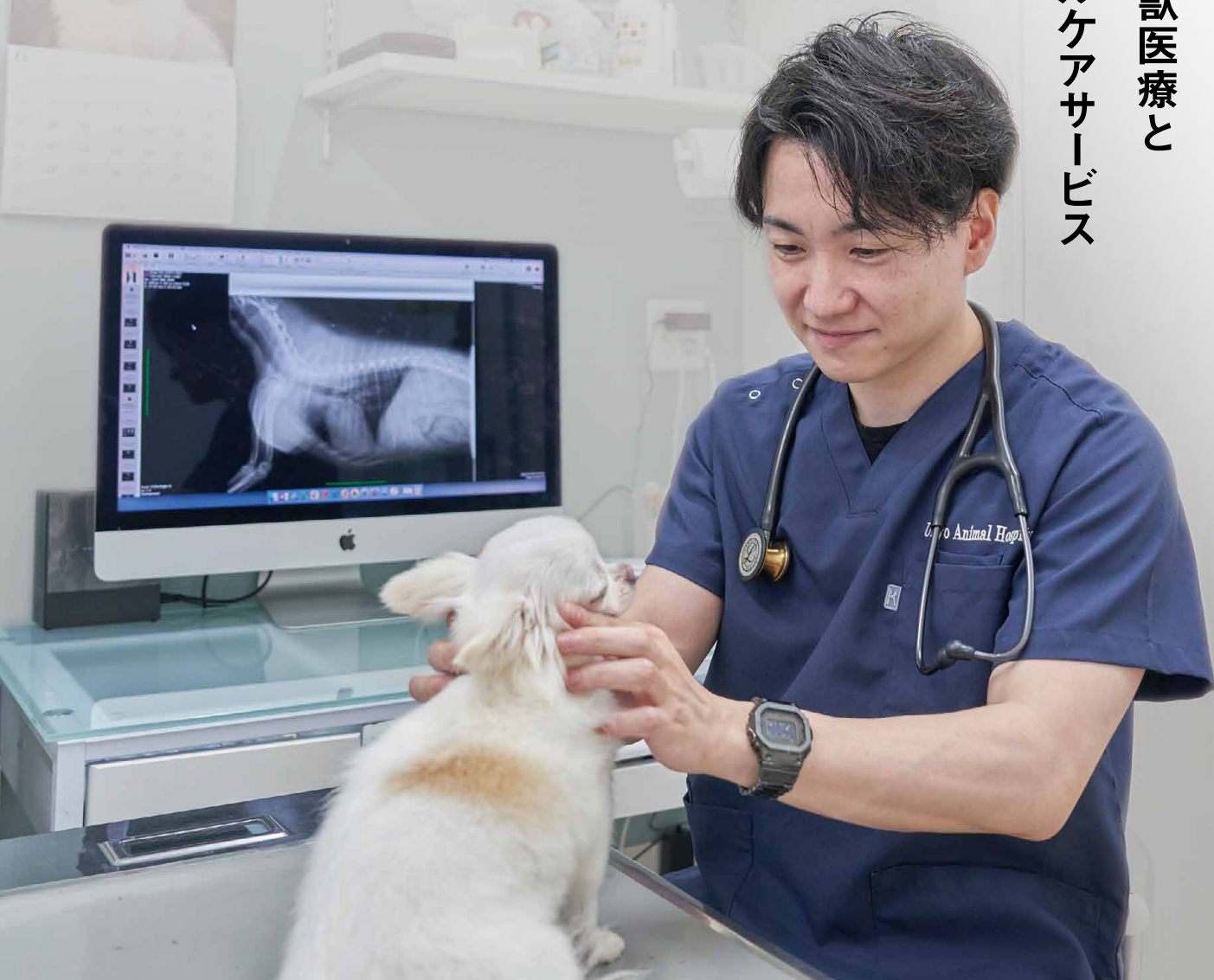
高いチーム力で、
高度医療を提供する

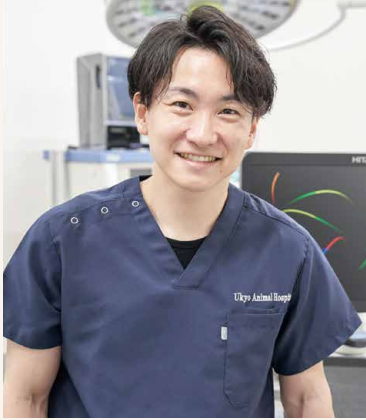
現在、全国にはおよそ1万3千の動物病院があるが、その約80%は獣医師1人または2人で運営している。そうした規模の小さな病院では、できる治療の幅も、1頭あたりにかけられる時間も限られてしまう。当院も、開業当時は平野隆爾院長が同級生

と2人で診療していたそうで「もっと獣医師がいれば、もっと自分にスキルがあれば…」と葛藤することも多かったという。しかし、医療センターで研修を積みながら直向きに励む姿勢は地域の人々から着実に支持を集め、開業から数年後には、来院者でパンク寸前の状態になった。

2015年に現在地へ移転するとともに、スタッフも増員。平野院長の弟の太陽さんも加わって分院を開業するなど、規模を拡大していった。現在では本院と4つの分院を構え、14名の獣医師を擁するまでになった。

「人の病院が眼科や皮膚科などに分かれているように、獣医師も専門性を磨くことで、より高度な医療を提供できるようにする。その上で、各人がチームとして機能することが必要だった」と平野院長。ご自身の専門は軟部外科だという平野院長には、京都で初めて僧帽弁閉鎖不全症（心臓弁膜症の一種）の手術を成功させた実績がある。5、6時間はかかる手術に加え、その後2、3日の集中管理





「優しい医療」と「高度医療」で動物たちを守りたい。

代表取締役・総院長 平野 隆爾 氏

小さな頃から一緒に暮らしてきた大切な家族を最後まで自分の手で診てあげたい。そんな私自身の願いをきっかけに開業した小さな病院は、もっと技術を磨きたい、もっと多くの命を救いたいという想いと共に大きくなってきました。関西には大学付属動物病院が大阪のみで、高度な医療を受けたいと思っても諦めざるを得ない状況もありました。そうした課題を解決すべく、4年前に私が代表となって設立したのが「合同会社KYODO 京都動物医療センター」です。ここは人の大学病院と同様、部門ごとに専門医が在籍し、他の動物病院から紹介を受けた患者さんに、より高度な医療を提供することを目的としています。右京動物病院で地域獣医療を支え、京都動物医療センターで京都府全域の動物たちを守るため、私たちは今後も「動物にも飼い主様にも優しい医療」を実践してまいります。



院内にはトリミング室を併設。健康診断や各種予防接種と合わせて利用できる。



当院では各種ペットフードも取りそろえており、年齢や体調に応じた食事の相談も可能。トータルケアサービスの一環だ。

株式会社UAH(右京動物病院 本院)
〒616-8181
京都市右京区太秦京ノ道町12番地2
TEL: 075-406-5211
URL: <https://www.ukyo-ah.com/>



CTスキャン装置や超音波機器など、当院では人の医療で使われる機器と同じものを導入することで、正確な診断に基づいた医療を提供している。

まで、一貫して対応するためには当然、専門知識と高い技術力が必要だが、何より「チーム医療」が不可欠だ。10名以上の獣医師が在席する動物病院は日本全体のおよそ2%しかなく、「このチーム力がこそが当院の何より大きな強みです」と平野院長は胸を張る。

世界に誇る 右京動物病院の技術力

高い医療技術とチーム力は他の動物病院にも認知されており、紹介で来るケースも多い。中でも注目すべきは、椎間板ヘルニアなどの腰の疾患から続発し、1週間以内に死亡するといわれる「進行性脊髄軟化症」の治療法を世界で初めて確立したことだ。過去の学会発表などを元に仮説を立てた上で臨床試験を重ね、救命率を97%まで高めた。当初は手術を受けさせるため全国から多数の飼い主が来院したという。

人の医療では主流になりつつある「腹腔鏡手術」を採り入れたのも、京都市では当院が初めて。人間よりも遙かに小さな臓器を扱う獣医療では、より緻密で丁寧な作業が求められるため、腹腔鏡手術は技術習得までのハードルが高い。こちらは平野太陽

分院長が専門で手掛け、2022年の腹腔鏡技術大会では、人の医療従事者が多数参加する中で優勝するなど、高い技術力を有している。

医療だけではない、 トータルケアサービスを提供

当院の強みは医療技術だけではない。トリミングや健康診断、歯磨き教室、年齢ごとの飼い方を指導するバビーカー教室やシニア教室など、あらゆるニーズに応えるトータルケアサービスを展開している。

「動物も長寿化が進み、歯周病や心臓病に罹る子たちが増えています。医療技術の向上はもちろん必要ですが、そうした疾患をどう予防するかはそれ以上に重要なんです」

2年前には「右京獣医療研修センター」を設立し、専門医による講演や手術現場

の公開などを続けている。「人の医療と異なり、獣医師には研修医制度がなく、極端に言えば学校を卒業した翌日に開業することもできます。しかし、卒業後も定期的に勉強できる環境がなければ、獣医療業界全体の技術力が上がらない。そう考えて当センターを建てました。市内の他の動物病院からも獣医師の先生方が来てくださり、京都の地域獣医療のレベルは着実に向上していると感じます」

2020年に進行性脊髄軟化症の治療技術に関する論文を公表したことで、手術可能な所も徐々に増えてきている。「獣医師一人が救える命は限られているからこそ、技術を絶えず発信していく必要があるんです」。平野院長の語るチームとは、日本の、ひいては世界の獣医師全員でつくりあげる医療体制の形なのかもしれない。

調

査リポート

2024年6月期「中信景気動向調査」結果より

景気動向の概要

業況D.I.は、前期比4.2ポイントの改善

地元中小企業の経営環境は、前回調査時から4.2ポイント改善の△17.2となりしました。業種別では、製造業(3.7ポイント減少)を除く、卸売業(13.4ポイント増加)、小売業(2.1ポイント増加)、サービス業(18.4ポイント増加)、建設業(1.3ポイント増加)、不動産業(10.0ポイント増加)が改善となりました。

地元中小企業の景気感は、旅行需要など個人消費関連を中心に上向いており、前回調査で大幅に悪化したサービス業(前回20.9ポイント減少)や卸売業(前回20.0ポイント減少)の改善が目立つ結果となりました。

業況D.I.の2024年9月期予想は、全業種平均で今期比0.6ポイント増加し、ほぼ横ばいで推移すると予想されます。業種別では、製造業(4.4ポイント増加)、卸売業(4.3ポイント増加)、サービス業(1.3ポイント増加)は改善を予想、小売業(4.3ポイント減少)、建設業(3.9ポイント減少)、不動産業(5.5ポイント減少)は悪化を予想しています。売上D.I.については全業種平均で3.8ポイント増加の改善、収益D.I.についても全業種平均で5.8ポイント増加の改善を予想しています。

今後の見通しについて、賃上げや定額

減税など家計の所得環境の改善による個人消費の動向が注視される中で、実質賃金の下落がプラスに転換することがポイントになると考えられます。インバウンド需要の増加はプラス材料となりますが、海外経済の下振れリスクや人手不足などの影響も注目され、プラスマイナスそれぞれの要因が表面化してくるなか、横ばいで推移すると予想されます。引き続き原材料価格等の動向や海外情勢等に注視する必要がある、先行きの不透明感が漂う中、地元の中小企業を取り巻く経済情勢の動向が注目されます。

調査要領

全体	660社		
製造業	234社 (35.5%)	サービス業	77社 (11.7%)
卸売業	92社 (13.9%)	建設業	130社 (19.7%)
小売業	73社 (11.1%)	不動産業	54社 (8.2%)

(調査時点 2024年5月)

対象範囲 京都府内、一部の滋賀・大阪・奈良の当庫取引先894社

回答数 660社 回答率 73.8%

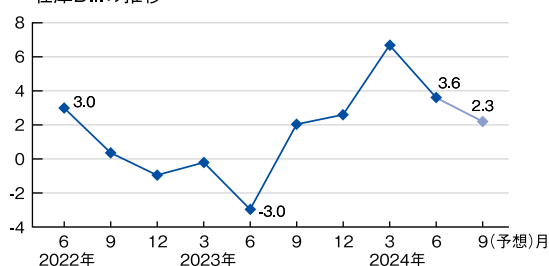
分析方法 D.I.(Diffusion Index)による

*D.I.=[増加+やや増加]と回答された企業割合-[減少+やや減少]と回答された企業割合

全業種

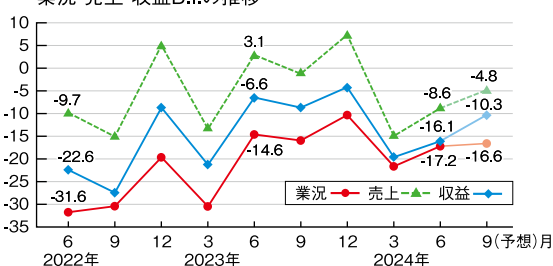
在庫 | 在庫D.I.は下降

在庫D.I.の推移



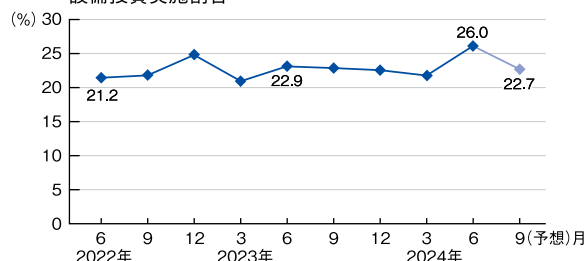
業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて改善

業況・売上・収益D.I.の推移



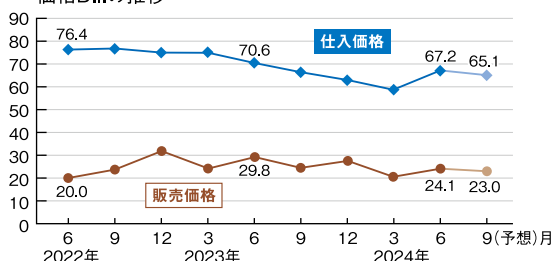
設備投資 | 依然として設備投資には慎重

設備投資実施割合

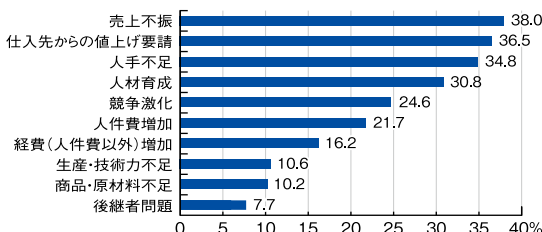


価格 | 販売、仕入価格D.I.ともに上昇、乖離幅は拡大

価格D.I.の推移

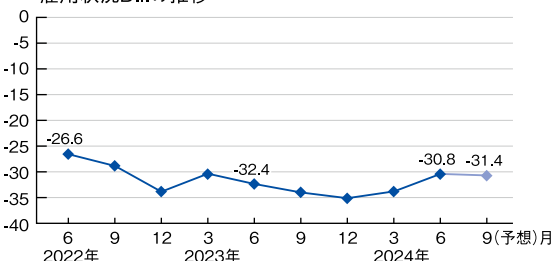


経営上の問題点 | 前期に引き続き「売上不振」が深刻

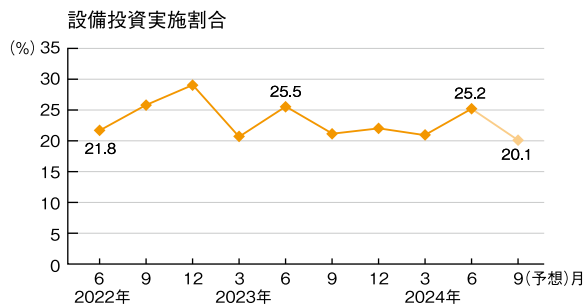


雇用状況 | 雇用D.I.は上昇

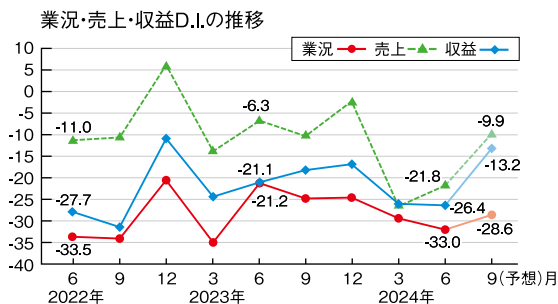
雇用状況D.I.の推移



設備投資 | 依然として設備投資には慎重



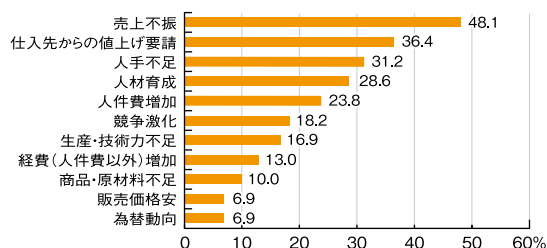
業況 | 業況、収益D.I.は悪化、売上D.I.は改善



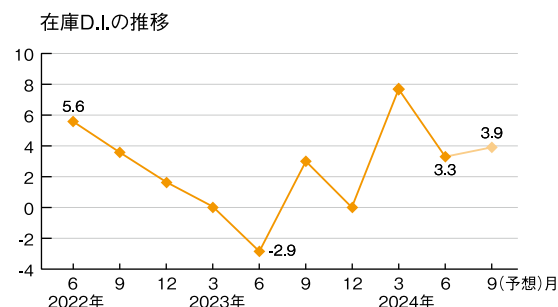
製造業

雇用状況 | 雇用D.I.は上昇

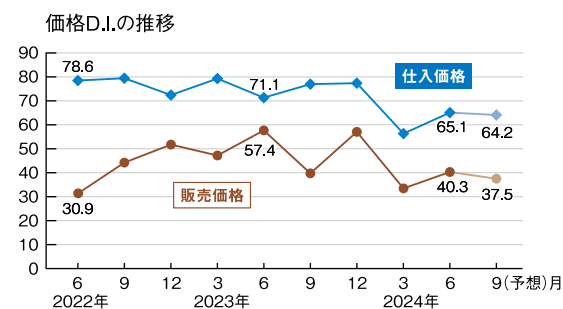
経営上の問題点 | 前期に引き続き「売上不振」が深刻



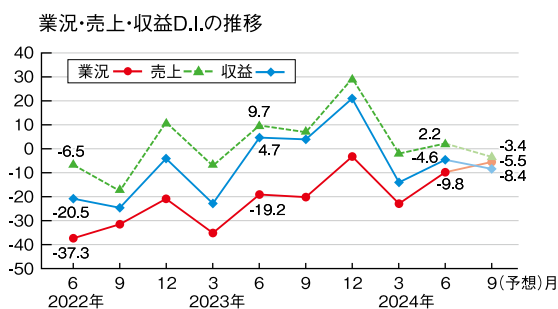
在庫 | 在庫D.I.は下降



価格 | 販売、仕入価格D.I.ともに上昇、乖離幅は拡大



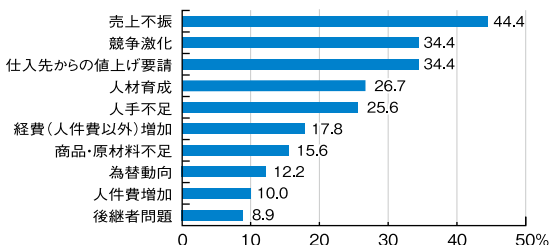
業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて改善



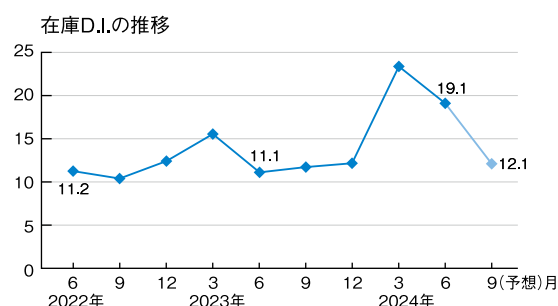
卸売業

雇用状況 | 雇用D.I.は横ばいで推移

経営上の問題点 | 前期に引き続き「売上不振」が深刻



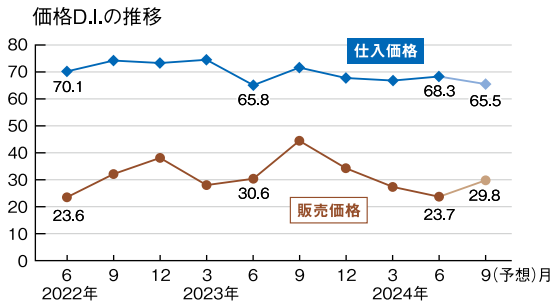
在庫 | 在庫D.I.は下降



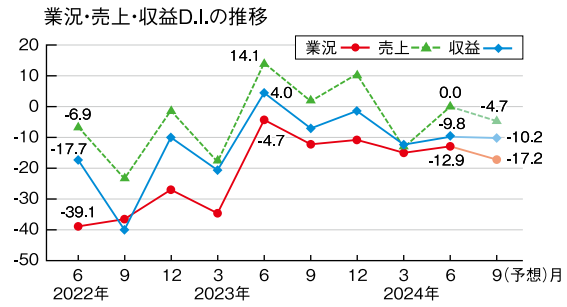


小売業

価格 | 販売価格D.I.は下降、仕入価格D.I.は上昇、乖離幅は拡大

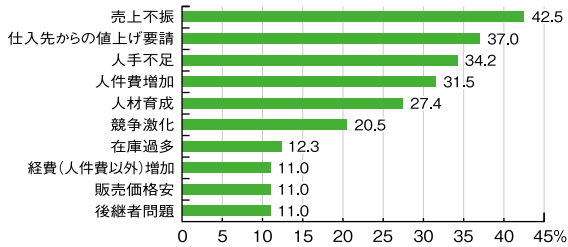


業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて改善

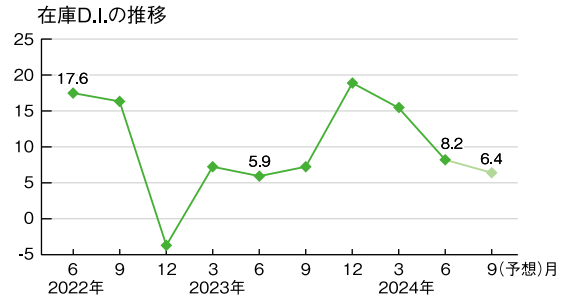


雇用状況 | 雇用D.I.は下降

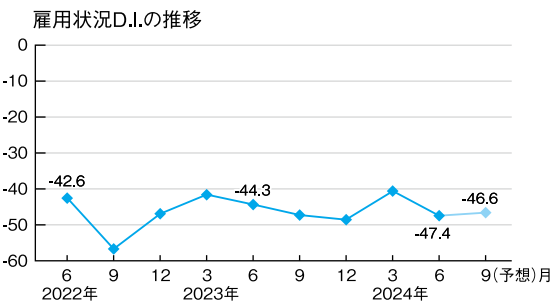
経営上の問題点 | 前期に引き続き「売上不振」が深刻



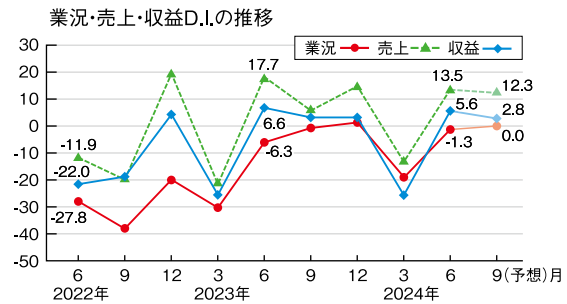
在庫 | 在庫D.I.は下降



雇用状況 | 雇用D.I.は下降

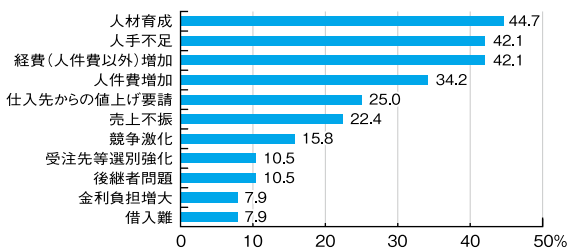


業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて大幅に改善

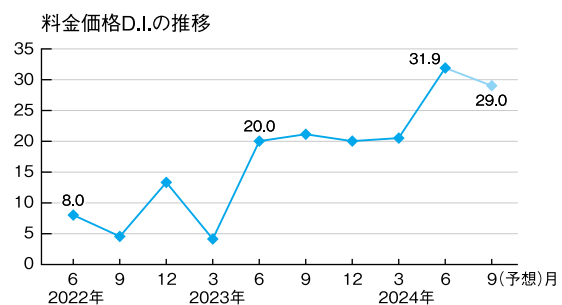


サービス業

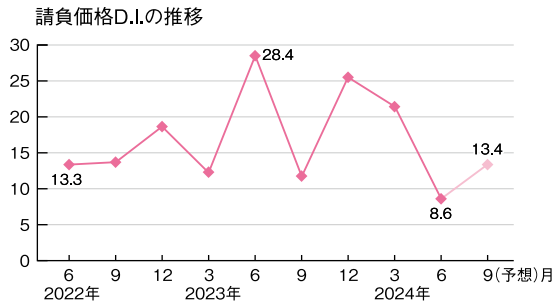
経営上の問題点 | 「人材育成」が深刻



価格 | 料金価格D.I.は大幅に上昇

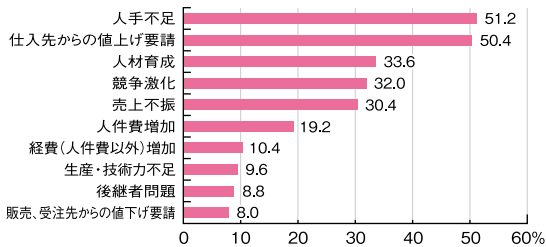


価格 | 請負価格D.I.は大幅に下降

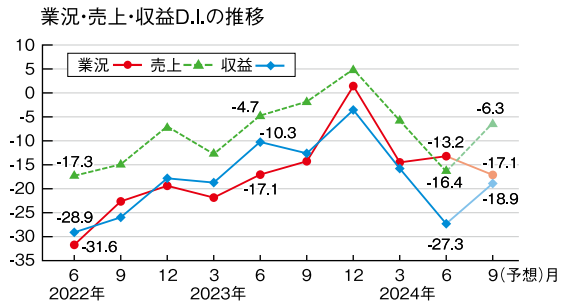


雇用状況 | 雇用D.I.は大幅に上昇

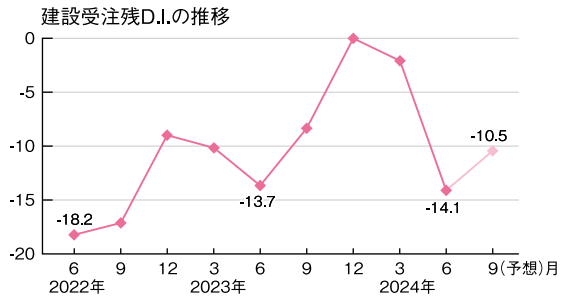
経営上の問題点 | 前期に引き続き「人手不足」が深刻



業況 | 業況D.I.は改善、売上・収益D.I.は大幅に悪化



受注残 | 受注残D.I.は大幅に下降

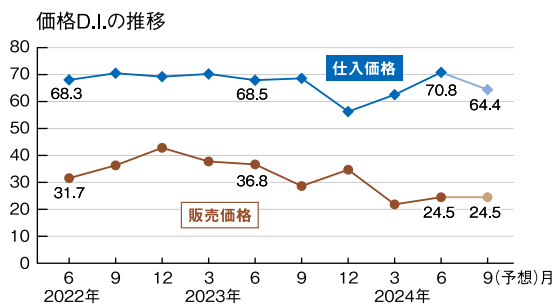


施工高 | 施工高D.I.は下降

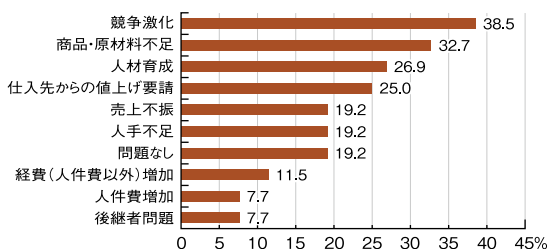
在庫 | 在庫D.I.は下降



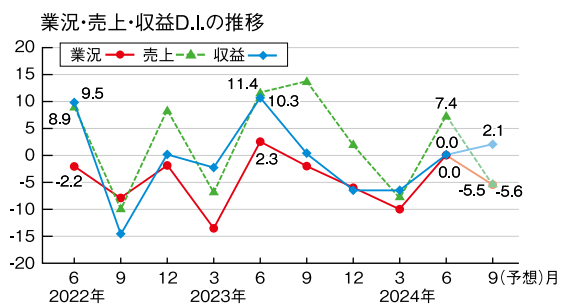
価格 | 販売、仕入価格D.I.はともに上昇、乖離幅は拡大



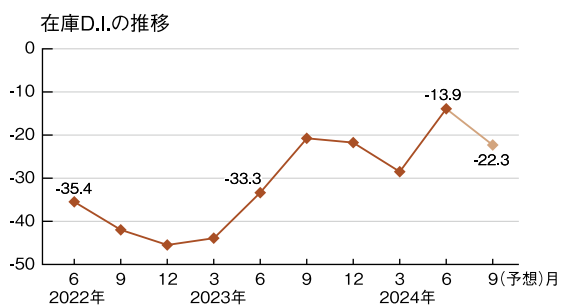
経営上の問題点 | 前期に引き続き「競争激化」が深刻



業況 | 業況・売上D.I.は大幅に改善、収益D.I.は改善



在庫 | 在庫D.I.は大幅に上昇



「中小企業における災害等への対応」について

調査先数 894社
有効回答数 660社
調査日 2024年5月

1 普段どのような災害を意識していますか。

普段意識している災害では、今年1月に発生した「令和6年能登半島地震」の影響もあり、「地震」が30.5%と最も多い結果となりました。次いで「火災」が24.0%、「風・水害（台風・ゲリラ豪雨など）」が20.6%、「コロナなどの感染症」が14.1%、「あまり意識していない」が4.6%、「地震、火災、風・水害、雪害以外の自然災害」が2.3%、「国際紛争」が2.2%、「雪害」が1.0%、「犯罪行為（大規模テロなど）」が0.4%、「その他」が0.3%となりました。

2 自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。

現在の災害への備えの自己評価については、「どちらかというときていない」が47.9%と半数近くを占める結果となりました。次いで「どちらかというときてきている」が36.4%、「できていない」が10.6%、「できている」が5.0%となりました。

実際に災害にあった際に自社の備えをどう感じたかについては、「災害にあったことがない」が35.9%と最も多い結果となりました。次いで「どちらかというときていなかった」が28.4%、「どちらかというときてきた」が23.7%、「できていなかった」が8.4%、「できていた」が3.6%となりました。

3 事業継続にかかる保険、具体的には財産補償（設備や店舗が損壊した時の補償）や休業補償（休業を余儀なくされた時の損害の補償）に加入していますか。

事業継続にかかる保険への加入について、全体の76.4%の企業が保険に加入をしており、「財産補償のみ加入」が44.1%と最も多く、次いで「財産補償、休業補償の両方に加入」が28.9%となっています。一方で、23%程の加入していない企業の加入していない理由として、「災害保険についてよくわからない」が6.2%と最も多く、次いで、「保険料が高い」が5.7%となりました。

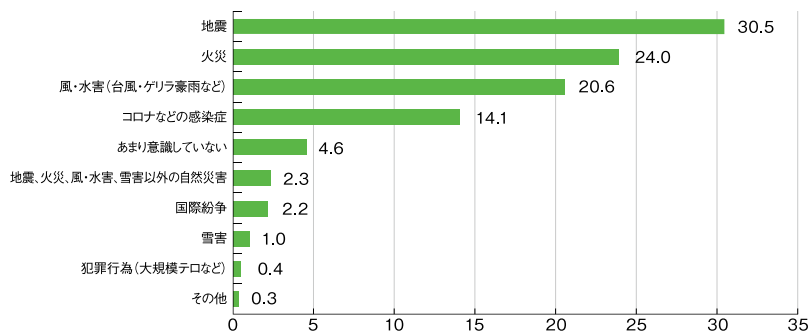
4 使用している建物の耐震についてどのように考えていますか。また、自社所在地周辺のハザードマップ（洪水や土砂災害、地震・津波など）を確認していますか。

建物の耐震については、「どちらかというときていない」が27.5%と最も多く、次いで、「どちらかというときてきている」が27.4%となりました。ハザードマップの確認については、「確認して、大きな問題はなかった」が45.7%と最も多く、次いで、「確認して問題があったが、対策は取っていない」が31.6%となりました。

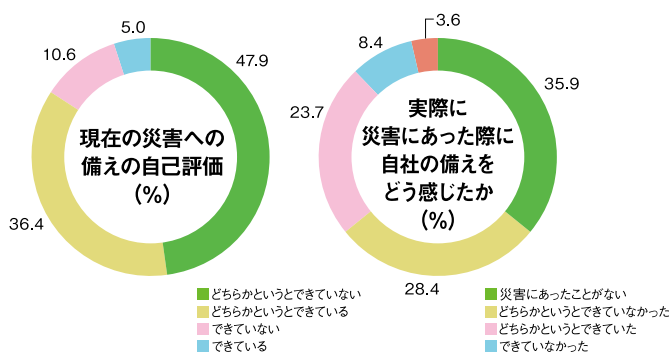
5 災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されています。通常、現預金などの程度保有していますか。また、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援（災害復旧貸付やセーフティネット保証4号など）を受けたことがありますか。

災害時への対応としての一定の現預金の保有については、「売上の1〜3カ月分」が33.4%と最も多く、次いで「売上の3カ月以上」が32.1%となりました。災害対策金融支援については、「コロナ禍の時に受けたことがある」が60.4%と最も多く、次いで「コロナ禍の時に受けたことがない」が36.9%となりました。

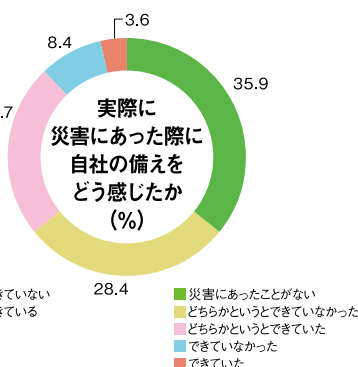
普段どのような災害を意識していますか (%)



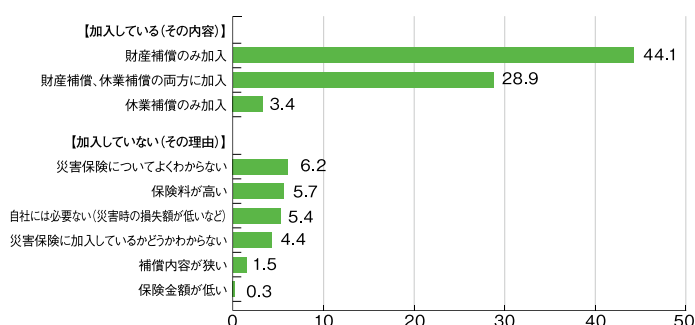
現在の災害への備えの自己評価 (%)



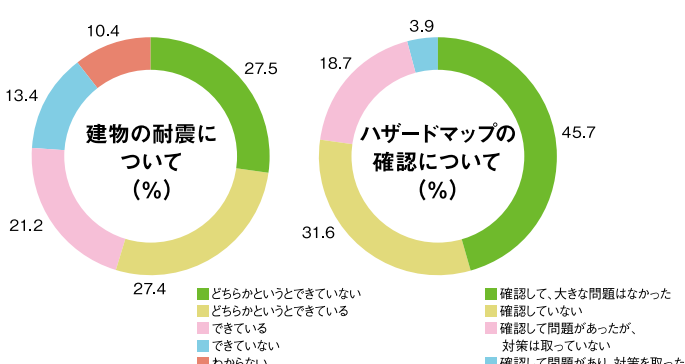
実際に災害にあった際に自社の備えをどう感じたか (%)



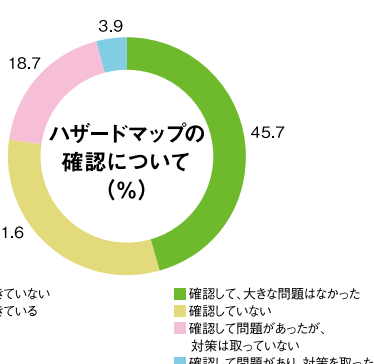
事業継続にかかる保険への加入について (%)



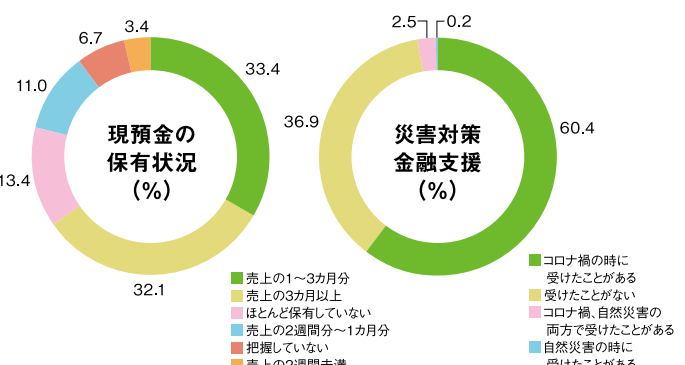
建物の耐震について (%)



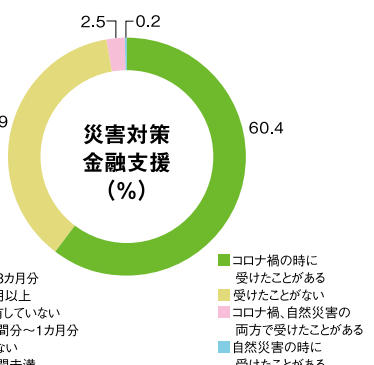
ハザードマップの確認について (%)



現預金の保有状況 (%)



災害対策金融支援 (%)



「今年の夏季ボーナス支給予定」について

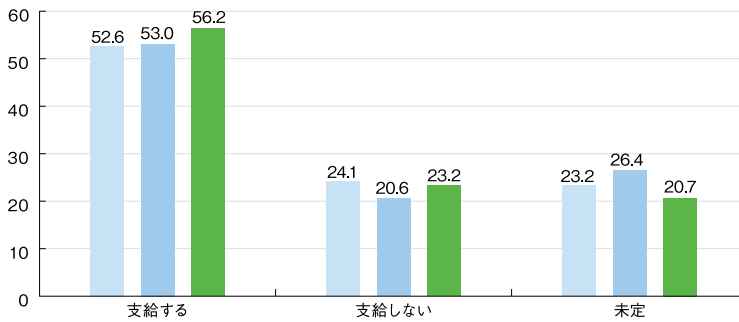
各グラフの凡例

2022年	2023年	2024年
2022年	2023年	2024年
調査日 2024年5月	有効回答数 660社	調査先数 894社

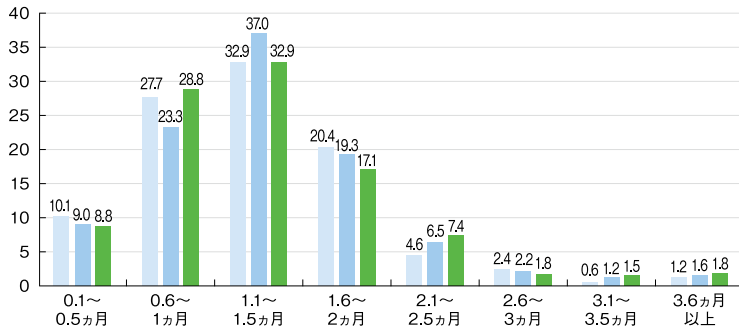
1 今年の夏季ボーナス支給の有無(予定)について

「支給する」が増加
「支給する」は56.2%で前年比3.2ポイント増加し、「支給しない」は23.2%で前年比2.6ポイントの増加となりました。

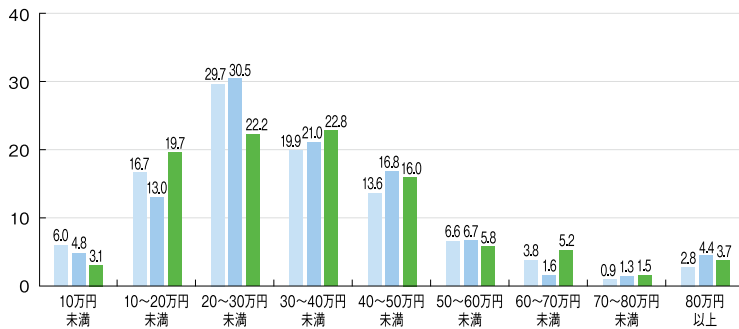
夏季ボーナス支給予定(%)



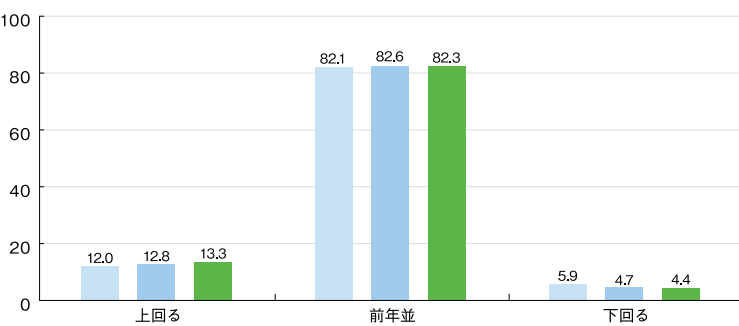
支給率(%)



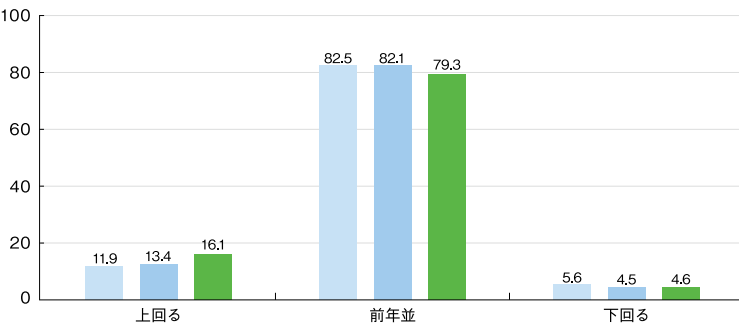
支給金額(%)



前年対比(支給率)(%)



前年対比(支給金額)(%)



《支給率は?》

「支給する」と回答された方は以下の項目もご回答ください
昨年同様「0.6~1.5ヵ月」の合計が61.7%が全体の6割となる
「0.6~1.5ヵ月」の合計が61.7%が前年比1.4ポイント増加で、前年調査に引き続き高い割合となり平均的な支給率となっています。また「1.6ヵ月以上」の高支給率も29.6%(前年比1.2ポイント減少)とほぼ前年調査並となりました。

《金額では?》

「支給金額は「20~40万円未満」が中心
支給金額では昨年度は「20~30万円未満」が最も多かったですが、今年度は「30~40万円未満」が22.8%と最も多くなりました。
「30万円未満」までの合計が全体の45.0%(前年比3.3ポイント減少)を占めています。

《支給率、対前年比では?》

支給率では「前年を上回る」が前年比0.5ポイント増加の13.3%、「前年並」は前年比0.3ポイント減少の82.3%、「前年を下回る」は前年比0.3ポイント減少の4.4%となりました。

《支給金額、対前年比では?》

支給金額では「前年を上回る」は前年比2.7ポイント増加の16.1%、「前年並」は前年比2.8ポイント減少の79.3%、「前年を下回る」は前年比0.1ポイント増加の4.6%となりました。



この街で、ともに未来へ。



京都中央信用金庫



発行 | 2024.8

京都中央信用金庫 総合企画部

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地

TEL (075) 223-8385 / FAX (075) 223-2563

URL <https://www.chushin.co.jp>

印刷 | 佐川印刷株式会社



この報告書は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。